



アジサイと行灯

# 龍谷院たより

発行所 龍谷院  
茨城県東茨城郡  
城里町下阿野沢1509  
TEL 029-289-3108  
FAX 029-289-3025  
編集人 蘭部 義光

## 行灯祭りへの想い

住職 蘭部 義光

時を遡ること約五〇年前、龍谷院では毎年「御田植祭」が行われていました。当時の下阿野沢青年会の人達が観音堂に集まり行灯に紙を貼り思い思いに言葉や絵を描き石段に並べていました。遠い記憶がいつの間にか忘れ去られてしまいました。

龍谷院には石段があり、アジサイの花もある。これをうまく利用して何かイベントが出来ないかと考えたのが最初です。行灯を石段に並べアジサイの花を見てもらったら良いかと思いました。

最初は単純な発想でした。総代世話人会で発表しました所、反対の意見はありませんでした。どうせやるなら、趣意書を作って全檀家に配るようにとのこと、

早速手配をしました。余り時間がありません。アタフタと準備に追われ、初めての行事に不安が募るばかりでした。

色々な人の意見を聞きながら進めていくと話が膨らみ、「光音、食」が無いと集まりが悪いと聞かされ、規模が徐々に大きくなってしまいました。まず光では行灯に灯すローソクの仄かな光に現代的な光として、イルミネーションのブルーと白の光を考えました。

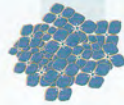
音について、カラオケ大会はどうかと言われましたが準備に手間がかかり過ぎて思いついて芸人を選択しました。食について良くわからないのでイベント会社に全てをお願いしました。また、警備の依頼、駐車場の確保、看板の作成、新聞チラシの手配、立看板。



これで全てが整いました。あとは天気だけでした。この大規模な「行灯祭り」に連日夜遅くまで、お力添えを頂きました各総代さまをはじめ各世話人さまには本当にお世話になり感謝申し上げます。

来年のことはまだ白紙ですが、皆様のご意見を聞いて検討したいと考えています。

### 参加者の声



#### 復活した行灯祭り

総代 加藤 盛一

日頃、檀信徒の皆さまには菩提寺の護持につきまして多大なご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

又、この度開催されました、花の寺「第一回アジサイ行灯祭り」に際しましては、役員の皆様には種々ご協力を賜り有難うございました。約半世紀ほど中断していた行灯祭りが、梅雨空の下に復活、大勢の参詣者をお迎えし、ご先祖様に

天候の恵みを託して、アジサイの花や境内の伽藍等をライトアップし、参道の石段には沢山の行灯が点され先人達に思いを抱き、幻想的なひと時を過ごすことができました。又、歌謡ショー等は若人達に大応援を送って頂き大変好感を印象づけられました。

二日間の行事でありましたが、ご先祖様に祈りが通じ天候に恵まれ無事終了する事ができました。ここに感想をこめ、お礼をいたします。ありがとうございました。



実行委員長あいさつ

#### アジサイ行灯祭りが終って

川野辺 博

私が子供の頃お寺のお田植祭には、家から寺へと続く田んぼの路に蛍が飛び交い、その先に寺の行灯の灯りが見える美しい夜景でした。此の度龍谷院第一回「アジサイ行灯祭り」が盛大に行う事が出来ました事を本当に良かったと思つて居ります。天候にも恵まれて、咲き誇るアジサイの石段に並べられた行灯の一つ一つには皆様の思いが込められた願文がかかれて居り、境内のコケ芝に「イルミネーション」が灯り夜更けと共に幻想的な景観となりました。駐車場に舞台が作られて、一日目に「歌謡ショー」、二日目に「楽器演奏」等多くの参会者の皆様が楽しい一時を過ぎられた事と思います。そして大勢の若い人達が寺に来て楽しんで行かれた事を大変喜んで居ります。

此の度の行事が成功裡に出

来ました事は、世話人様始め檀信徒の皆様のお理解と御協力の賜と深く感謝を申し上げます。



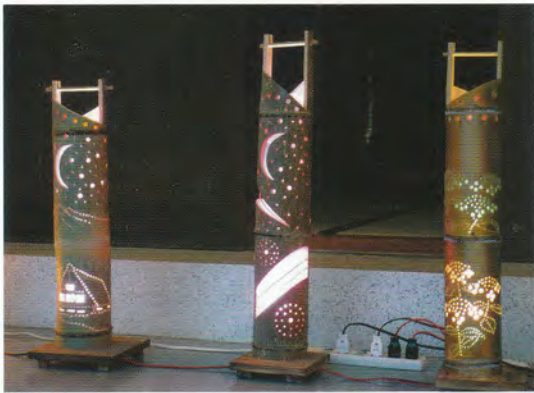
にぎやかな歌謡ショー

#### あじさい行灯祭りに参加して

加藤木 美一

去る六月二十九日から三日間、つゆ空のもとアジサイ、行灯祭りが行われました。心配された雨も降らずに、多くの老若男女の皆様に参加を頂き、盛大にとりおこなわれました。山門階段両側に飾られた、多くの行灯が夕ぐれとともに





皆川幸夫さん手作りの行灯

輝きをまし、きれいに境内を照らし出し、参加された方の中からは歓声も上がっていました。境内に於いては、女性歌手の唄やバンド演奏、また多くの店が出店して賑わいました。特に日曜日には、家族連れを始め小中学生も多数の方が訪れました。初めての催しにしては、大成功だったと思います。これも、ひとえに住職さんを始め、各檀家さん、各代表者の皆様のご協力のたまものだと思います。今年の成功を糧に、来年以降もさら

に盛大な祭りに発展、継続していけばと思います。

盛大だった行灯祭り

桐原 幸子

六月二十九日、三十日アジサイ行灯祭りが開催されました。紫陽花の花が咲きほこる山門への石段の両側と本堂客殿、千手観音像の前に行灯が置かれ、式典終了後六時三十分には皆々の願いが込められた行灯に、世話人さんたちの手によって灯が点されました。

日が暮れ辺りが夜を迎える頃、行灯のほのかな灯は、皆の願いを成就させるかのように力を強さを増し、また昼間とは違った紫陽花の美しさを際立たせ、幻想的な空間が山寺を包み込みました。

行灯の灯に誘われるように大勢の方が訪れ、出店に立ち寄る浴衣姿の子供達、自分の名前が書かれた行灯を探し歩く人達、本堂の前での催し物に賑わう人達と、それぞれが

一足早い夏祭りを満喫しているように見受けられました。

今回が初めてとは思えぬほど盛大に終わる事ができた事大変うれしく思います。

また来年も皆さんが元気にこの祭りを迎えられる事を願い、今回の祭りに携われた方々に感謝いたします。



バンド演奏

幻想的な行灯と紫陽花

上阿野沢 所 正光

紫陽花の色とりどりに咲いている六月二十九日、三十日、初めての「行灯祭り」が行われました。



行灯を並べる実行委員

初日には、実行委員の方々と檀家の方々より寄付された行灯二百四十三個を龍谷院の石段やスロープ両側に飾り、夕刻に点灯を行いました。はじめは薄ぼんやりしておりましたが、日暮とともに、ちよっぴり降った小雨と共に紫陽花の花と行灯の灯が調和して幻想的な空間を醸し出しておりました。私もカメラ片手に石段を何往復かし、時のたつのも忘れシャッターをきってお



りました。見学に来た人も自分の寄付した行灯を見つけ記念撮影をしている人や、じつと風情を楽しんでいる人もおり、石段を杖をつきながら登ってきた人も満足そうでした。

子供達も大勢参加し、初めての祭りとしては大変良かったと思えました。

**あんどん祭りに参加して**

小野地区 宇留野一洋

歴史ある龍谷院で、六月二十九日、三十日の両日、第一回アジサイ行灯祭りが開催されました。厳粛の中にも盛大に行われましたこと強く印象に残っております。ご住職様、総代様はじめ関係の皆様方の努力と熱意の賜と思います。

本堂に通じる石段をメインにすべての階段の両側に指名と願文が書かれた数多くの行灯が整然と配置され、あんどんの光が見事な幽玄の世界を演出し、誠に心癒された一時でした。広場には舞台も設置

され、町長さんのご挨拶、ご来賓の方々、あんどん祭りを盛り上げようと懸命に努力して下さった関係の方々、心を一つに力強い協力の姿が頼もしく感じられました。檀家の人達のみならず、龍谷院を中心とした地域ぐるみの楽しい年中行事のお祭りとして、末永く続けられますようお願いしております。

初めての催しではありませんが、深く感動を残した大成功のあんどん祭りでした。



本殿前の行灯

**龍谷院の行事**

節分会

二月三日、節分当日は穏かな好天に恵まれ、多くの善男善女が福を求めて集いました。

午後二時、三時、五時の三回に分かれて、それぞれの信徒が、観音堂で「家内安全」「無病息災」などを祈願し、その後、今年の恵方に向かって威勢よく福豆をまきました。

今年も一年間ご加護があることでしよう。



「鬼は外 福は内」



「こんなに拾っちゃった！」



お手伝いの梅花講の皆さん



二月十五日 涅槃会

お釈迦様が亡くなられた命日。インド国クシナガル地において最後の説法をします。

それが遺経です。龍谷院には大変古い涅槃図が残されています。天保四年（一八三三）に修復した記録があります。一八〇年前です。



龍谷院所蔵の涅槃図

四月八日 花祭り

今年も梅花講員を招集して降誕会を修行しました。お釈迦さまは現在のネパール国のルンビニ園で生まれました。

大凡二千数百年前です。

五月二十日 第七回龍谷院 檀信徒交流ゴルフ大会

ゴルフ大会が地元桂ヶ丘カントリークラブにて開催されました。今年は天候不順の中でしたが最高の、四十名の参加者がありました。結果は次のとおりです。

- 優勝 関 里美様
- 準優勝 五位測 昭様
- 三位 茂垣 盛夫様

次の方々からご寄付をいただきました。

- 協賛金 関 信彦様
- 江幡 照夫様
- 茂垣商店様
- 平塚設備様
- 桂聖明園様
- オケキ仏具様
- 商品 石鉄石材様
- 橋本 茂様
- 小幡 利克様
- 加藤木勝三様
- 龍谷院

六月二十三日

環境美化の奉仕作業

本年度第一回の環境美化作業が、総代、世話人、梅花講員など、約四〇人の奉仕により行われました。

総代、方丈様の挨拶に続き、一斉に作業が進められました。



方丈様の挨拶を聞く奉仕者たち

刈払い機のエンジンの音も勇ましく、膝上まで伸びていた草が、見る見る刈られていきました。約二時間で境内がすっかりきれいになりました。



作業中の皆さん

感謝録

第一回 行灯祭り  
ご寄付者

城里町高根

総代 加藤盛一様

金100,000円

第二回目の奉仕作業は、七月二十七日に行われました。毎年のことですが、役員、梅花講の皆様、本当にご苦労様でした。



アジサイ行灯祭り

龍谷院第一回のアジサイ行灯祭りが、六月二十九日、三十日の二日間に亘って、にぎやかに行われました。

長い石段の両側に並べられた、二四三基の行灯が、幽玄な明かりを燈すなかを、一段一段上っていくと、イベントの行われる広場（駐車場）に着きます。

午後六時に総代、方丈様の挨拶があり、続いてにぎやかな歌謡ショーが始まりました。家族連れや若い人たちのグループが目立ち、活気にあふれ



幸せを願う行灯の列

龍谷院は近隣の寺のうち、アジサイ寺となっております。これからいつまでも、アジサイ祭りが行われることを祈ります。

ていました。龍谷院で準備した夜店の前には行列ができるほどでした。



歌謡ショーを見る参詣者たち

開山忌 (498回忌) 並びに先祖供養会

平成25年12月2日(月)

午前10時 開山忌  
午前10時半 法話  
午前11時半 先祖供養  
終了 昼食

『編集後記』

龍谷院の行事で今年の最大の催事は、行灯祭りでした。多くの行灯が奉納され、祭りが盛大にできました。これも実行委員の方々のご努力の賜のです。企画は方丈様の文で、祭りの様子は六人の方の寄稿で伺うことができます。多くの方が楽しみにしていることから今後も継続されればと思います。

編集委員

杉山三千雄  
稲川 清

祠堂牌受付中

永代供養牌 十五万円  
(但し、お骨の預かりは別となります。)



申込先 龍谷院 〇二九―二八九―三一〇八

申し込みいただいた祠堂牌は位牌堂に祠ります。



従来の祠堂牌は七万円 (三十年前が五万円)